

事務事業名	青少年育成センター運営事業		会計	一般会計	事業種別	政策	開始	19	終了	
H27担当課等名	生涯学習・スポーツ課	H27係等名	地育力向上係		H26係等名	地育力向上係				
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かななづくり							
	施策	24	家庭教育の充実							
目的	対象(誰・何を)	子ども及びその家庭				対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	健全に育つ環境が整う					子育てをしている家庭(戸) (0歳～18歳までの子どもがいる世帯)		10206	
	向上させたい上位施策の成果指標	基本的な生活習慣を修得している子どもの割合:%								
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	少年が飯田警察署管内で刑法犯で検挙された件数(1月～12月)			90	54	50	85		
	成果指標	関係団体、地区の安全会等と実施した巡回箇所件数			30	25	30	35		
定性目標										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成、青少年保護活動等を行うため青少年育成センター事業を運営する。</li> <li>・飯田市の青少年健全育成基本方針に基づき、青少年の健全育成に関する活動を担うため、センターに青少年育成推進委員を置く。</li> <li>・青少年育成センターは、育成推進委員と共に青少年健全育成活動(啓発・巡視・地域、団体、関係機関等との連携など)を行い青少年が健全に育つ環境整備を進める。</li> </ul>									
事業内容					名称			活動指標		
26年度事業内容	1 青少年育成推進委員(2年任期)				1 選出委員			1 9人		
	2 各地区、団体等との情報交換会及び巡回活動				2 巡視回数			2 4回		
	3 情報共有のための全体会(改選時)				3 開催回数			3 1回		
	4 青少年を取り巻く地域環境実態調査 漫画喫茶、ネットカフェ、カラオケボックス等				4 実態調査箇所			4 25カ所		
	5 推進委員のための研修会への参加 (青少年の犯罪の傾向、インターネット研修等)				5 実施回数			5 2回		
	6 広報、HP、センター情報等での情報発信				6 発行回数			6 2回		
	7 研修会の開催(情報リテラシーについて等)				7 開催回数			7 2回		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		401	575	381	502					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		401	575	381	502					
人件費計(千円)②		286		286						
正規職員所要時間		80		80						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		687	575	667	502					
事業内容・目標達成状況の振り返り	インターネットを介したトラブルから、青少年が加害者や被害者になるケースが多くある。専門機関による支援件数も急激に増加している。そのため、今後もネットトラブルに対する研修や啓発を重点に活動していく。									
改革改善の考え方	①問題点	青少年同士の繋がりが、SNS等の普及により、学校区をまたいでいることなどから、関係団体の連携と、地域間の連携が必要である。また、今後、インターネットを介したトラブル等により犯罪少年の増加が予想される。								
	②改革提案	インターネットや、スマートフォン等の急速な普及、大人のモラル低下等、社会環境が大きく変化する中で、これまでの啓発活動、巡回活動に加え、メディアリテラシーを向上させるための研修会を開催する。推進委員を定員の10名まで増員し取り組んでいく。								